



開二小だより

Vol. 227 第8号
令和3年12月1日発行
練馬区立開進第二小学校
校長 長谷川 修
www.kaishin2-e.nerima-tky.ed.jp

「言葉に心を入れる」

副校長 小林 資郷

早いもので師走を迎えました。新型コロナウイルス感染症も落ち着きを見せ、開二小の近くにある練馬駅周辺も賑やかさを取り戻してきたように見えます。賑やかな「賑」は「和」が変化したものだそうですが、賑やかと和やかではだいぶイメージが違う気がします。ただ、心が和んでいるからこそ、人も集まり、陽気に話がはずみ、賑やかに活気も出てくるのでしょうか。世界中のコロナが沈静化することを祈るばかりです。

11月26日、27日、学習発表会を無事、実施することができました。教師と子供たちが一緒になって作りあげていくこの時期の体育館は、驚くほど独創的で素敵な劇場空間となります。発表会では、普段の様子からは見られない、生き生きとした表現を見せる子がいます。その一方で、緊張を解きほぐすために一生懸命、勇気を出している子もいます。子供たち一人ひとりには、発表の様子だけでは見えない数々のドラマがあります。今回の学習発表会では感染症対策のハンデがありながらも、精一杯、気持ちを込めて自分のセリフを伝えていたり、身振り手振り等動きを自分で工夫して表現していたり、また、裏方で係の仕事を一生懸命頑張る子供たちの姿に感動しました。

ところで皆さんは、人と話をする時に自分の気持ちを上手く相手に伝えることができますか。いつも話に聞き入ってしまう話し上手な方がいますが、そういう人は共通して言葉に「心」をのせるのが上手です。俳優や声優の方たちはまさに言葉に心をのせるプロですね。この言葉に心をのせる訓練を学習発表会の数週間だけで成し遂げる

ことはなかなか難しいと思います。しかし自分の思いをしっかりと相手に伝える力は子供たちにとって、これから人と良好な関係を築いたり、自己実現を図ったりする上で欠かせない大きな力となります。そこで以前、お会いしたアナウンサーや声優の方からお聞きした言葉に心を入れる簡単なコツを2つお伝えしたいと思います。

まず一つは、人と話すとき、相手の顔（できれば目）をしっかりと見て、「心が伝われ」と念じ、相手を思いやって声を発することです。もう一つは見聞きしたものをそのまま伝えるのではなく、しっかりと言葉を咀嚼し、自分の言葉で話すことです。そうすることで必ず気持ちは相手に届きます。そのとき、もし相手の人たちの表情が笑顔に変わったり、うなずいたりしてくれたり間違いなく伝わっています。ぜひ試していただけたらと思います。

保護者の皆様には、学習発表会に向けて道具や衣装のご準備、お手伝い等ご協力いただきありがとうございました。また、新型コロナウイルス感染症対策のため、お子様のいる学年のみのご鑑賞となりましたことへのご理解をいただき、感謝いたします。

いよいよ今年も残り僅かになりました。冬休みに入ると外出する機会も増え、子供が思わぬ事故に巻き込まれることがあります。以下の点をご家庭でもご注意していただき、安全で楽しい冬休みをお過ごしになりますようお願いいたします。

- ・不特定多数の人込みが多い場所や川のそば等の危険な場所では遊ばない。
- ・交通ルールを守る。
- ・スマートフォンやゲームなどは、ご家庭でルールを決めて使用する。



12月行事予定

日	月	火	水	木	金	土
			1 朝学習 安全指導 長縄週間(始) 研究授業 [㊤]	2 読書 学力調査4-2 探検ラリー ^④	3 体育朝会 学力調査 4-1 探検ラリー ^③	4
5	6 朝会 委員会活動	7 クラス 避難訓練 [㊤] ふれあいタイム (昼休み)	8 朝学習 午前授業 個人面談 [㊤]	9 読書 水曜時程 午前授業 個人面談 [㊤] なかよしの日	10 児童集会 午前授業 水曜時程 個人面談 [㊤]	11 ユニセフ 集会 学校公開 水曜日の時 間割 道徳授業 公開
12	13 朝会 クラブ	14 クラス	15 朝学習 午前授業 個人面談 [㊤]	16 読書 水曜時程 午前授業 個人面談 [㊤]	17 体育朝会 長縄週間(終)	18
19	20 朝会 委員会活動	21 クラス 美化の日	22 朝学習	23 読書 給食(終) 大掃除 [㊤]	24 終業式 午前授業	25 冬季休業 日(始)
26	27	28	29	30	31	
<p>①②③④⑤⑥は学年です。 ㊤はあおぎり学級です。</p>						

体力テスト考察

体育部

今年度の体力テストは、新型コロナウイルス感染症予防の観点から、種目を絞って実施しました。多くの学年で男子は、「50メートル走」、「長座体前屈」、女子は、「50メートル走」の記録が全国平均を上回る結果となりました。しかし、「握力」「反復横跳び」「立ち幅跳び」「ソフトボール投げ」が全国的に見て低い結果となりました。

本校では、体育朝会やコ・オーディネーショントレーニングを行うことで、体の使い方や運動の機会を増やしています。

体力向上には、継続的に運動をすることが大切です。子供たちの「運動の日常化」を目指し、是非、ご家庭でも運動する機会を増やしていただくと幸いです。